

学校教育目標	志高く 未来を拓く 高西中教育 ～ 自立・協働・創造 ～
--------	------------------------------

a ミッション	中学校区で取り組む「志プロジェクト」の推進	a ビジョン	自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成
---------	-----------------------	--------	----------------------------------

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j	k 二次評価			l コメント	m 改善案	
					g	g	達成度			イ	ロ	ハ			
志高く 学びは深く	学力の向上	主体的な学びの実現	①生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計 ・逆向き単元構想図・指導案の作成 ・単元内自由進度学習の実施（生徒用シラバスの作成） ・多様な選択ができる「自己決定」の機会の設定 ・学びを「自己調整」する機会の設定	①生徒アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいる」における肯定的評価	75%										
			②生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫 〈実態分析〉 ・学力分析の実施 ・支援を要する生徒に対する手立ての計画 〈個別最適な手立ての工夫〉 ・生徒の興味・関心・習熟度に合わせた「問い」の設定 ・見通しのある授業【高西中授業スタイルの徹底】 ・授業のUD（ユニバーサルデザイン）	②生徒アンケート「自分の特性や達成度、興味・関心に合わせて学習活動に取り組む」における肯定的評価	85%										
			③「いきかたナビゲーション（『いきナビ』）」の実施 ・キャリア・ログ「学びの地図」の活用 ・「なりたい自分」に近づくための理想とするロールモデルとの出会いの設定（キャリア講演会）	①②学力調査（1・2学年は標準学力調査 3学年は実力テスト）を全国平均	+2										
			③生徒アンケート「自分の夢や目標、なりたい自分に近づくために自ら進んで努力することができている」における肯定的評価	75%											
出会いが広く	生徒指導の充実	お互いの個性を認め合える	①生徒にとっての安心・安全な居場所づくり ・笑顔で挨拶を交わせる集団の育成 「モデルとしての教師」 「生徒会活動・部活動を通じた指導」 「肯定的評価・フィードバック」 ・自己肯定感の涵養 「アセスと学級力アンケートによる生徒支援」 ・SSR「ほっとルーム」の活用 「相談する力」の育成 「自分の強みを知り生かす力」の育成	①生徒アンケート「自分たちの学級は、安心して生活できる学級です」における肯定的評価	90%										
			②学校行事、生徒会活動等をはじめとした「挑戦の機会」の充実と「感動体験」の共有 ・生徒が主体となる自治的活動の推進 「リーダー、フォロワーの育成」 「生徒の笑顔、元気を引き出す仕掛け」 ・問題の発見と共有から始まるプロセスを大切にしたい取組 「学級力向上プロジェクトの推進」 「各学級の状況に応じた学級活動の実施」	②各行事への生徒満足度（肯定的回答）	90%										
信頼される学校づくり	働き方の改革を高める	働き方の改革を高める	①学校教育目標（最上位目標）の実現に向け、自己エンジンをもちた役割を遂行する 【自立】	①『教職員アンケート』において、「学校教育目標（最上位目標）の実現に向けて、役割（校務分掌）を遂行している」と回答している教職員の割合	90%										
			②一人一人が知恵を出し合い目標実現に向けてチームで協力する 【協働】	②『学校の働き方アンケート』において、「教職員間で業務の手助けなど、互いに頼みやすい雰囲気がある」と回答している教職員の割合	90%										
			③新たな価値（改善策）を提案する 【創造】	③『学校の働き方アンケート』において、「新たな取組を行う場合、スクラップ&ビルドを行っている」と回答している教職員の割合【R4：48%】	70%										

（自己評価 評価）
 A：100≦（目標達成） B：80≦（ほぼ達成）<100 C：60≦（もう少し）<80 D：【外部評価】イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。
 （できていない）<60